

2001 明るい人権の町づくり大会開催 ～守ろう人権 なくそう差別～



5月12日（土）、松前総合文化センターで松前町教育委員会主催・松前町同和对策協議会・企業連合会松前支部・松前町同和教育協議会共催の「2001明るい人権の町づくり大会」が盛大に開催されました。



▲大会の様子

松田同和对策協議会会長の開会の言葉に続き、主催者を代表して、赤星教育長から「差別のない町づくりを推進するため、町民総ぐるみで人権教育を推進していこう。」という決意のこもったあいさつがありました。続いて来賓の白石町長から「行政の責務として人権・同和問題をはじめとするあらゆる差別を根絶していこう。」という力強いお言葉をいただきました。

また、亀井町議会議長、亀岡愛媛県同和对策協議会会長代行からご祝辞をいただきました。県からは、春田社会教育課長のご出席をいただきました。次に永年にわたって同和教育の推進に多大の貢献をされた2名の方と3団体に感謝状が贈られました。

【受賞者の皆さん】

- (個人)
- 西村 温一郎 氏
(前松前町同和教育協議会 会長)
- 足立 桂 輔 氏
(前松前町同和教育協議会 副会長)
- (団体)
- 松 前校区老人クラブ
- 岡 田校区老人クラブ
- 北伊予校区老人クラブ



▲受賞者の皆さん

開会行事に続いて、松前中学校人権委員会の皆さんによる朗読「みみをすます・心をひらいて」の発表がありました。体験をもとに、音と映像を交えながら、これからの自分自身の生き方や、地域の方々へのメッセージをなげかけてくれました。



▲松前中学校人権委員会の皆さん

次に徳島県芝原生活文化研究所代表、辻本一英先生による「街角に人権文化を」と題して講演がありました。幻の祝福芸「箱廻し」の復活と被差別部落の伝統芸能・労働についてお話しいただき、研究所の皆さんに『三番叟』『えびす舞』を披露いただきました。木偶人形を木箱にいれて、全国をまわった人形芝居「箱廻し」は、1960年代に姿を消したといわれています。女性が口上を語りながら操る人形の舞に、会場からは盛んな拍手が送られました。



▲阿波木偶人形箱廻し三番叟

▼辻本一英先生



最後に松原企業連合会松前支部長より「今日の大会を糧として、明るい町づくりを推進しよう。」とあいさつがあり閉会となりました。